

# 農業塾第3講 病虫害防除と管理作業



防除の基礎知識講座の様子



農業資材説明の様子



防除実習の様子



トマト管理実習の様子



キュウリ管理実習の様子

第3講はIPM（総合的管理技術）と病虫害防除の基礎知識です。

安全安心な農産物の生産を目指して、農薬に頼らない物理的・生物的・耕種的防除の技術例の紹介と、農薬の種類や特徴・効果的な散布方法をJA指導員が説明しました。

また、JAの農業資材担当者が、JA管内の購買店舗の紹介と店舗の商品説明を行いました。

病虫害の防除には農薬散布が効果的ですが、農薬には使用基準が定められているため、きちんとした知識と責任を持って使用してください。特に、飛散や適用作物の確認は十分注意してください。

講義終了後は実習圃場へ移動。

始めに、肩掛け噴霧器を使用し、薬液の作り方と散布の仕方を実演しました。

つづけて、前回定植した野菜の管理作業をJA指導員が説明しました。

トマトは実を大きくするために一本仕立てとし、ナスは4本の主枝を横に伸ばすように誘引します。ピーマン・キュウリは、倒伏防止の為に、ネットを張りました。

管理作業の基本は、わき芽の整理と伸ばす枝の選定です。作物の特性を理解し、適切な整枝をこころがけましょう。

講座終了後は、JA就農支援センター内のイチゴハウスで、収穫体験を行いました。受講生は、箱いっぱいイチゴを手にとり、大変喜んでいただきました。



イチゴ収穫体験の様子

# 5月24日現在の生育状況



トマトの全体図



トマト



ナス



ナスの全体図

トマトはうねの中央に支柱（黒い支柱）を立て、横ヒモを通し、主枝を誘引しました。わき芽は、樹勢を確認しながら取り除き、一本仕立てとしました。

ナスはうねの両脇に支柱を立て横ヒモを通し、その横ヒモに麻ひもを四本つなぎ、主枝を誘引することで、4本の主枝を四方に広く展開できるようにしました。



ピーマンの全体図



ピーマン



キュウリ

ピーマンは倒伏防止の為、うねの両端に支柱を立てフラワーネットを張りました。わき芽は、樹勢を確認しながら、取り除き、3~4本仕立てにしています。

キュウリは親づるから5節目までの側枝を取り除きました。それより上から出る側枝は、実をつけさせ、第2葉の先で摘心します。



キュウリの全体図

オクラ・トウモロコシ・枝豆は、一部害虫による食害がみられましたが、ほぼ順調に生育中です。

受講生のみなさま、お時間がありましたら、いつでも見に来てください。



オクラ・トウモロコシ  
・枝豆の全体図